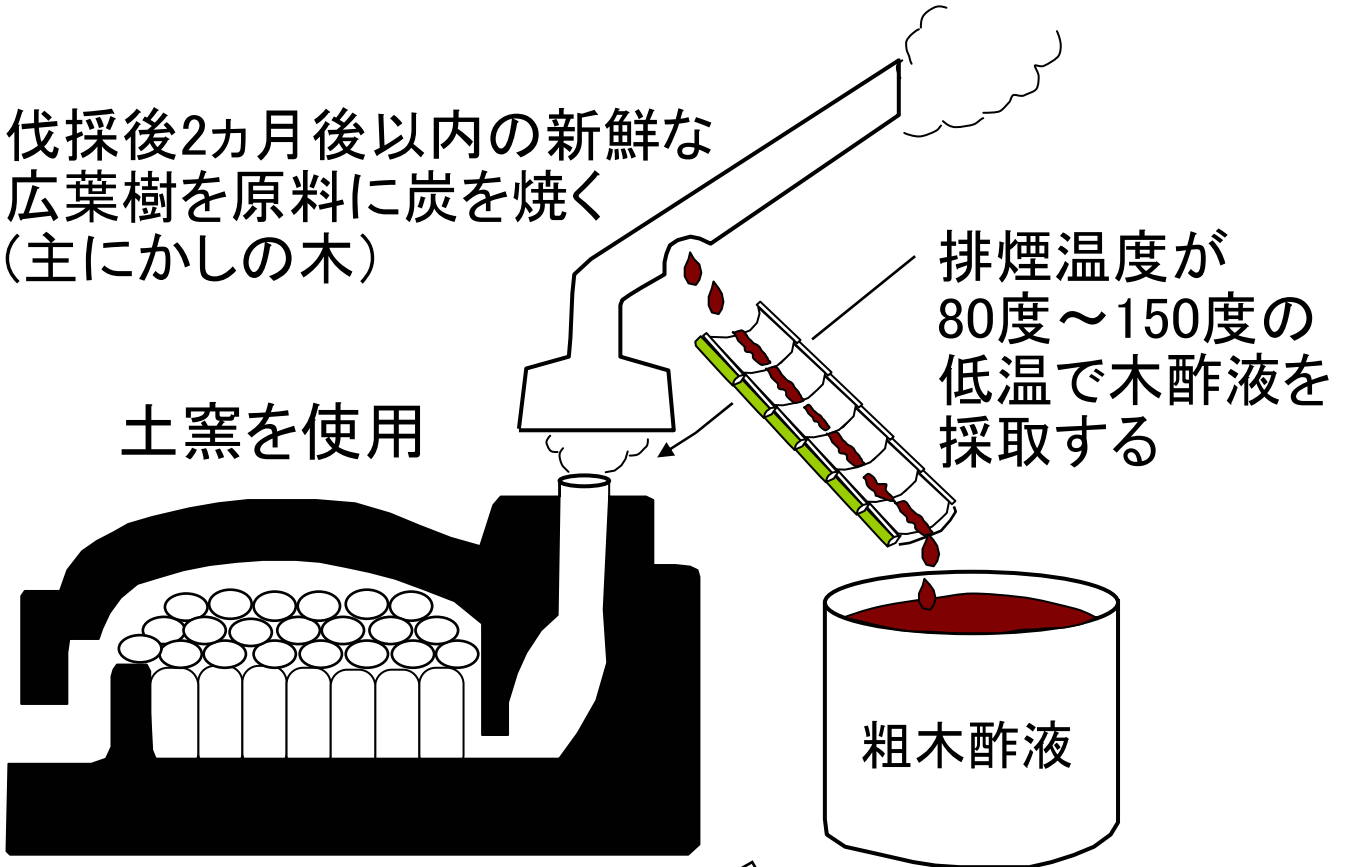


# 木酢液生産工程の概要

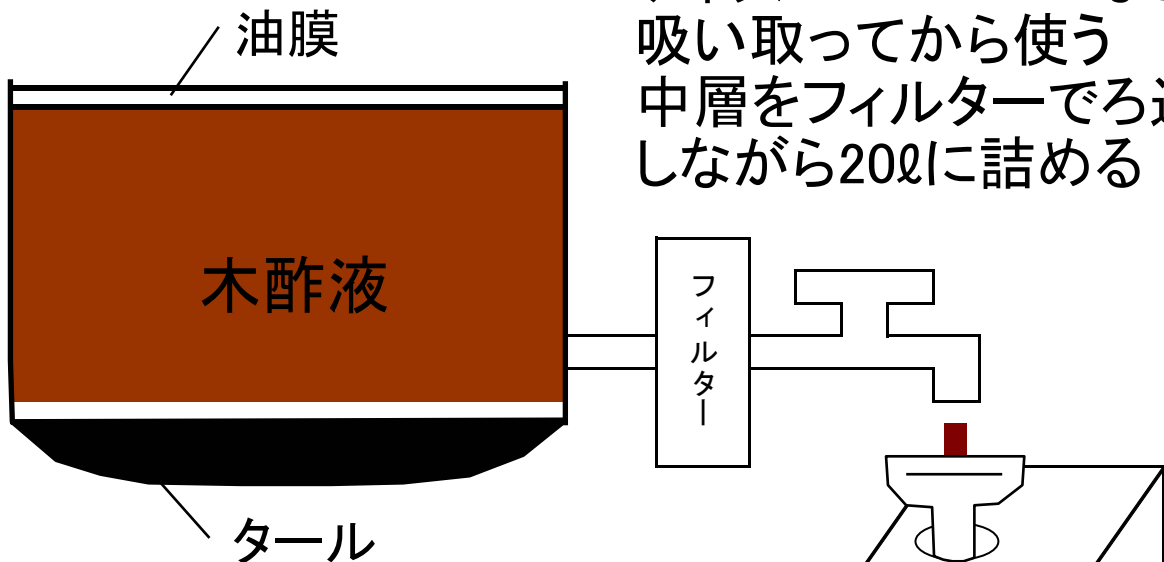
伐採後2ヵ月後以内の新鮮な  
広葉樹を原料に炭を焼く  
(主にかしの木)

土窯を使用

排煙温度が  
80度～150度の  
低温で木酢液を  
採取する



3ヶ月静置し、油膜を  
ティッシュペーパーなどで  
吸い取ってから使う  
中層をフィルターでろ過  
しながら20ℓに詰める



採取・貯蔵・ろ過には耐酸性の  
資材(ステンレス・竹・ポリエチレン)  
を使用しています

(株)尾鷹林業